

【経営全体構想】

誰もが、9年先の自分を描き
9年前を振り返ることができる学校

白川村の教育目標

心豊かで **たくましく ひとりだち** する子

～ふるさと白川郷に夢と誇りを～

共生

なかよく

自立

すすんで

貢献

みんなの
ために

白川郷学園の教育目標
ひとりだち

共通指導理念 **誰もが輝く学校 ひとりだちの教育**

未来の担い手をはくくむための「社会に開かれた教育課程」の編成実施

確かな学力を育む ふるさと白川村を深く学ぶ グローバルな生き方を求める

後期課程

教科担任制

前期課程

専科指導元取り

担任制

**確かな
学力**

産学官連携による
学力向上プロジェクト

ICT活用による
多次的学習の
開発

教育事務所指定
研修校としての
質の高い
授業づくり

村民学

ふるさと白川郷

白川村を科学する
村民学の実施

白川村の村民から
直接生き方を学ぶ
「白川びと学」

グローバルな力を
育てる英語教育
SEE

※グローバルとローカルを
合わせた選講

スクール

ファミリー制度

異年齢縦割り
集団による個の
成長保障

9年間一貫の児童
生徒会活動の組織
と自治力の育成

地域への貢献活動
の活性化

9年

8年

7年

6年

5年

4年

3年

2年

1年

高ブロック

中ブロック

低ブロック

児童生徒の日常生活の基盤作り

時を守り 場を清め 礼を正す

Topics

「社会に開かれた教育課程」を具現するための
「白川郷学園ハイブリッドシステム」

本校の教育課程は、学校がエンジンになる通常の学びのシステムに加えて、地域がもつエネルギーを効率的に駆動させる2つの動力源を生かした『ハイブリッドシステム』で運用しています。これは、質の高い本物の学びを児童生徒に保障することに加え、学びを単なる感動に終わらせず、次なる自らの生き方につなげるためのシステムでもあります。





指導体制・指導内容（教育活動）

低ブロック				中ブロック		高ブロック		
1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
前期課程 (小学校学習指導要領を準用)						後期課程 (中学校学習指導要領を準用)		
特別な教科：「村民学」				・ふるさと学習 ・白川びと学 ・「未来」と「くらし」		全学年：年間35時間 全学年：年間10時間 3～9年：年間10～20時間		
英語教育：「SEE」 1・2年（隔週1時間） 3・4年（週1時間） 5・6年（週2時間） 7～9年（週4時間）								
学級担任制（一部教科担任制：～2教科）				一部教科担任制 （3～7教科）		教科担任制		

4-2-3ブロック指導体制（ブロック、児童生徒会等）

低ブロック				中ブロック		高ブロック		
1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
・低ブロック集会 ・保育園交流活動 ・高齢者とのふれあい活動				・中ブロック集会 ・部活動体験 ・後期課程説明会		・高ブロック集会 ・9年生を幸せにする会 ・進路説明会		
<input type="checkbox"/> 学園集会 <input type="checkbox"/> 保学なかよし班活動（縦割り班活動） <input type="checkbox"/> 児童生徒会活動（学園各専門委員会活動） <input type="checkbox"/> 学園行事（1年生を迎える会、部活動壮行会、体育大会、等）								
児童生徒会活動（学園委員会活動）								
リーダー 学園								

教職員組織体制（コアメンバーを核とした学校経営）

E8（エンジン8）と教育相談委員会

学園のマンパワーと教職員の分掌を生かした「コアメンバー」で組織されています。E8は、副校長がマネジメントを行い、主に学校経営にかかわる事項の検討や共通理解を進めます。教育相談委員会は、教頭（生指・教相担当）がマネジメントを行い、児童生徒の話題を情報交流します。いずれも、教育活動の成果や課題に基づき、即効性のある取組に結びつくよう進めています。また、提出された「課題」は、夏季休業日中の「ランドデザイン会議」で、「評価・改善」へ話し合います。



E8（エンジン8）構成図



【学園の生活】

今日が楽しく、明日が待ち遠しい、 ワクワク・ドキドキする学園

「話す」「聴く」「読む」「書く」力をつける

- 発達段階・教科の本質をふまえためざす姿を明確にする
- 系統性をもたせた毎月の目標づくりと振り返りを行う

「みがき」や家庭学習を通して、 基礎・基本の定着を図る

- 前期課程：国語、算数を中心にした、朝みがき、夕みがきの内容を共通にする
- 後期課程：みがきで教科担任が中心となり、五教科の学力向上を図る



タブレットを活用した授業

一人1台のタブレット端末やコミュニケーションツールを積極的に活用した授業

日程表

	前期課程	後期課程
朝みがき	8:00~8:10	8:00~8:15
朝の会	8:10~8:25	
1時間目	8:30~9:15	8:20~9:10
2時間目	9:25~10:10	9:20~10:10
青空タイム	10:10~10:25	
3時間目	10:30~11:15	10:30~11:20
4時間目	11:25~12:10	11:30~12:20
給食	12:10~13:00	12:20~13:00
昼休み	13:00~13:25	
掃除	13:30~13:45	
5時間目	13:55~14:40	13:55~14:45
6時間目	14:50~15:35	14:55~15:45
夕みがき	15:35~15:45	
帰りの会	15:50~16:05	
前期課程：下校	16:15	
後期課程：みがき		16:15~16:30
部活・放課		16:35~

【前期課程】5時間授業時：みがき(14:40~14:50)
帰りの会(14:55~15:10) 下校15:15



1年生「国語」の授業



9年生「理科」の授業

義務教育の入口と出口の授業

なかよし班給食



Topics



時を守り・場を清め・礼を正す

時を守り

- 互いにかけてがえのない時間を大切にし時間を守れる人

場を清め

- 小さな汚れや乱れにも気づき美しく掃除・整理整頓できる人

礼を正す

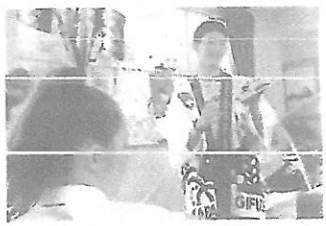



- 自分から気持ちのよい挨拶ができる人、言葉を大切にできる人



世界へ発信できる、
グローバル人材を育成します

「聞く」「話す」から「読む」「書く」へ広げる英語教育
生きて働くコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力の育成

9年間を見通した英語教育

9	使う 広げる	コミュニケーション能力を発揮 村、県、国、世界へとグローバルに発信する力	
8			
7			
6	理解する	コミュニケーションの基礎を形成 「聞く」「話す」「読む」「書く」4技能の知識及び技能を理解し蓄える時期	
5			
4	慣れ親しむ	コミュニケーションの素地を形成 「読む」「書く」につなげるための文字の導入	
3			
	触れる 楽しむ	「聞く」「話す」を中心に、思わず英語を話したくなるようなインプット中心の授業	

Topics

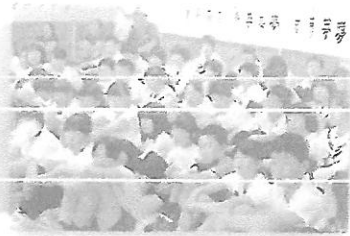
荻町合掌集落での「コミュニケーション活動」

児童生徒は、荻町（世界遺産合掌集落）に出かけ、外国人観光客と会話（村の紹介等）によるコミュニケーション活動を行います。特に、6～8年生は、各務原市等の「立志塾」において、同様の活動を他校の児童生徒とともにに行います。9年生のオーストラリア研修も含め、日頃の授業で培った力と、こうした経験を積むことで、コミュニケーション能力を高めます。



【主な年間行事と交流活動】

学園では、学年差を超えて、共に集い、遊び、学び合います



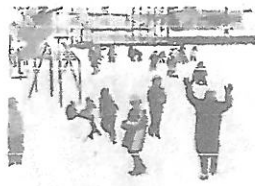
主な年間行事

(平成 30 年度)

- 4月 入学式(1年)、後期課程進級式(7年)
知能検査(2・5・7年)
新入生を迎える会(1~9年9)
授業参観日・PTA総会・学級懇談会
 新入生を迎える会
- 5月 家庭訪問(1~9年)
スポーツテスト(1~9年)
PTA資源リサイクル活動
修学旅行(6年)、白川研修(7年)
 修学旅行(ジュニア観光大使)
- 6月 市・地区中体連陸上大会(7~9年)
中体連壮行会(1~9年)
平瀬研修(5・8年)、職場体験(8年)
期末テスト(1~9年)
市中体連(バレー・卓球・柔道)大会(7~9年)
 中体連壮行会(1~9年)
- 7月 住民健診(9年)
授業参観日・学級懇談会
地区・県中体連大会(7~9年)
個人懇談(1~6年)
 白川村民健診(9年)
- 8月 サマースクール(1~9年)
海外(オーストラリア)研修(9年)
2分の1成人式(4年)
 海外(オーストラリア)研修(9年)
- 9月 白川郷学園体育大会(1~9年)
児童・生徒会役員選挙(5~9年)
ふるさと白川郷ウィーク(平瀬祭礼)
 体育大会(応援合戦)

- 10月 中間テスト(7~9年)
ふるさと白川郷ウィーク(敦町・鳩谷・飯島)
高山市・白川村陸上記録会(6年)
社会見学(5年)
PTA資源リサイクル活動
高山市・白川村音楽会(3・4年)
 ふるさと白川郷ウィーク(鳩谷)
- 11月 高山市・白川村音楽会(7~9年)
茅刈り(7~9年)
白川村民文化祭参加(1~9年)
期末テスト(1~9年)、二者懇談(7~9年)
 茅刈り(7~9年)
- 12月 研究発表会・地域公開日(1~9年)
 子ども未来会議(班別会)
- 1月 立志式(8年)
書初め・展覧会(1~9年)
学年末テスト(9年)、CRT検査(7~8年)
スキー教室(1~8年)
 スキー教室(4~6年)
- 2月 学級懇談会
後期課程進級説明会(6年)
9年生「ありがとうの会」(1~9年)
学期末テスト(1~8年)、
CRT検査(1~6年)
 9年生「ありがとうの会」
- 3月 卒業証書授与式(9年)
公立高校入試(9年)
児童生徒役員選挙(4~8年)
前期課程修了式(6年)
※太赤子の行事は、「節目の行事」と位置付けている。
 卒業証書授与式

9年間を通じた交流活動



あおぞらタイム



結トーク(児童・生徒会主催)



高齢者学級ふれあい運動会(1~2年)



赤い羽根協働募金協力(6年)

異学年との交流



なかよし班活動(掃除・給食等)



児童生徒会主催の学園総会(1~9年生)

地域との交流



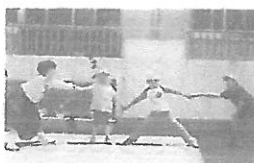
ランチタイムコンサート in NBK(4年)



読み聞かせ読書(PTA母親委員)



ワクドキ白川郷学園(新入生1日入学)



あおぞらタイム(月1回の年長児との交流)



家庭科「保育実習」(9年)

保育園との交流

【教育活動支援】

9年間の発達段階を踏まえて 「学び」と「成長」を支援します



「学び」を支える



ICT機器による教育環境の充実
(白川郷学園ICT整備事業)



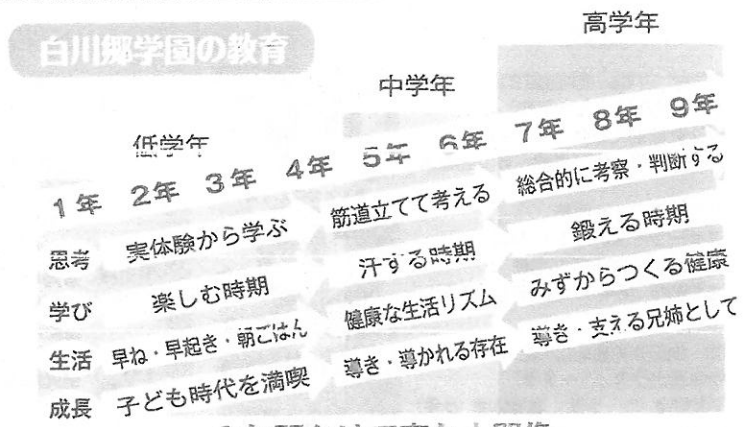
学力向上プロジェクト
(産学官連携事業)

「未来創造塾」



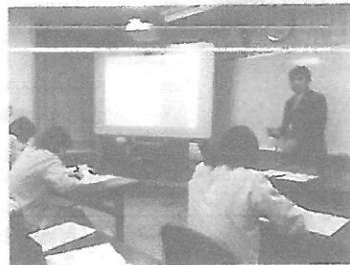
わくわくコンサート
シンガー・ソングライター：
新沢としひこさん

白川郷学園の教育



9年間かけて育む人間像

「成長」を支える



県専門支援員派遣
学校心理士：橋本 治 教授



「和心」の授業
舞蹈家：花柳琴臣 先生



書道教室 書家：茂住青椰 先生



全校合唱指導 作曲家：松井孝夫 先生

本物体験を通して、「夢」「あこがれ」を抱く

Topics

児童生徒会主催「結トーク」

異学年で構成された「なかよし班」で話し合います。その内容は、自己紹介（趣味、頑張っていること等）や学園や地域の課題を出し合う等、幅広いテーマを扱います。このトークを通して、多様な考え方や表現の仕方を学びます。さらに、こうした活動を繰り返すことで、仲間への「安心感」が生まれ、人間関係形成能力も高まります。お兄さん、お姉さんの存在が、「心」と「身体」を支えています。



【特別な教科 村民学】

ふるさと白川の「知識」とそこに生きる
「人々の思い」を、より深く学びます

学年	白川村 村民憲章	学年のテーマ
9	【動きだそう！ 白川びととして】	白川村の「貢献者」
8	たがいに力を合わせ 住みよい村をつくります②	白川村の「未来の担い手」
7	たがいに力を合わせ 住みよい村をつくります①	白川村の「若者担い手活動」
6	細かな心を失わず 感謝の生活をします	白川村の「福」と「守る会」
5	豊かな文化をたつとび 伝統を生かします②	白川村の「伝統芸能」
4	豊かな文化をたつとび 伝統を生かします①	白川村の「合奏楽団」
3	さびしい自然に負けず たくましく生きます	白川村の「伝統食」
2	美しい風土を誇り 自然を守ります②	白川村の「農村風景」
1	美しい風土を誇り 自然を守ります①	白川村の「豊かな自然」

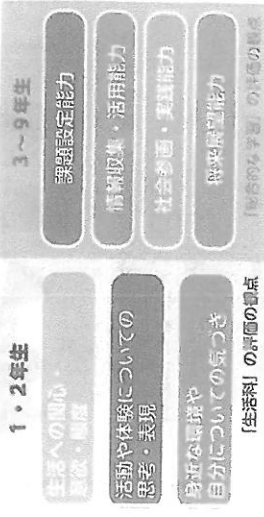
「ひとりだち」の力を
育む授業を目指して
～義務教育9年間を見通し、
確実に力をつける9年間の
指導の在り方～

ふるさと「白川郷」
自然・くらし・知恵・
世界遺産・村民憲章 など

各教科
〈真理の探究〉

国語、社会、算数、数学、
理科、音楽、図工、美術、
体育・保健体育、家庭、
技術、外国語

① 評価の観点



プロジェクト学習「白川郷いなり」の企画・販売
特別な教科「村民学」は、9年の長期スパンで取り組むふぶぶと学習を中
心に進められています。その中でも、大テーマ設定によるプロジェクト学習は、
「探究開発→発信」型学習を展開しています。例えば、8年生は、「観光→特
産物の開発・販売」をテーマに「白川郷いなり」を企画しました。
「白川郷いなり」は、村内の食材を使い、合掌造りモティーフに、8年生が、
デザイン・レイアウト作成し、村内の業者に製造を依頼しました。村内や高山市
で販売し、さらに、村内「道の駅」で、常時販売のPR活動も行いました。

Topics

- ・白川村民憲章
めざすは、ふるさとを
たくましく守り、暮らしを
よくし、自然を大切に
守ります。
- ・美しい自然を
大切に守ります。
- ・美しい自然を
大切に守ります。
- ・美しい自然を
大切に守ります。
- ・美しい自然を
大切に守ります。
- ・美しい自然を
大切に守ります。

村民学 ふるさと「白川郷」

ふるさと白川郷を科学する

ふるさと学習
(もの)
「村民憲章」を基とした
探究的な学習
各学年・年間・学期
(1・2年生は生活科から、
3～9年生は総合的な
学習の時間から)

白川ひと学
(ひと)
白川村に関わる人から
担い手としての
志や生き方を学ぶ
(キャリア教育)

「未来」と「くらし」
(こと)
担い手として必要な
知識・技能などを学ぶ
(ICT教育・国際理解・
行財政など)

年間70時間
※1・2年生は生活科から35時間
※3～9年生は総合的な学習の時間をあてる

特別の教科
道徳

特別活動
行事・学級活動

★F・A

（ふるさとアドバザー／ふるさとアシスタント）とは……
・村民学をはじめに、授業や活動で、子どもの学習を
支援していただく地域の方
・ふるさと白川郷の人々の「心」や「思い」などを伝えて
いただける方々



白川郷学園学芸連携協議会会長
白川郷郷土の自然環境を守る法会長
和田正人さん

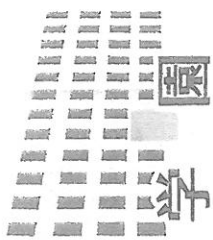
白川郷学園は学校と
地域が一体となって子
どもたちを育てていま
す。私も担任の先生と
もに、何度も教壇に立
ち、白川郷への「思い」
や白川郷に誇らする人々
の「心」を伝えてい
ます。

研究②
「ひとりだち」に向かう自主的・実践的な態度や
集団生活における実践力を確実に育てる1単位
時間の指導
主体的な学び（自主）→教材の検証、習入
対話的な学び（共生）→仲間との学び、交流、議論
深い学び（真試）→振り返り（学びの自覚）、評価

研究①
年間指導計画・単元指導
計画の作成を通して
「ひとりだち」の力を育む教科指導及び「村民学
（ふるさと白川郷）」の年間指導計画の工夫
9年間を見通した「ひとりだち」に向かう自主的・実
践的な態度や集団生活における実践力の明確化
・発達の段階を踏まえて地域教材を教材化した村民学
のカリキュラムの作成
村民学と精神的な学習を明確にした各教科のカリ
キュラムの修正



「村民学」でF・Aの先生方から学ぶ



【学校支援部】

運営協議会員 地域住民 学園職員
地域学校協働活動推進員 など

- ・村民学マネジメント支援
- ・地域教材、地域人材の検討、支援 など



学園職員と学年担当FAとの相談会

学園と地域の 共通の願い

「ふるさと白川郷に夢と誇りを もった白川っ子を育てたい！」

将来の担い手育て

担い手=ふるさとへの熱い思いを 胸に 白川村に貢献できる “ひと”

【学校運営協議会】

地域住民 保護者 学識経験者
学校員 地域学校協働活動推進員

- ・学校運営に必要な基本方針の協議及び承認
- ・各部の活動内容の協議
- ・学校評価



運営協議会員と学園全職員との懇談

【地域活動部】

運営協議会員 地域住民 学園職員
地域学校協働活動推進員 など

- ・登校ふれあい活動
- ・地域における担い手育て活動 など



地域住民による懇談



地域の方と共に体験をしたり話し合ったりすることで、知恵や技、願いや思いを学ぶことができる (村民学：ふるさと学習)



村内外の方から様々なことを学ぶことで、自分の生き方を見つめ、未来への夢をもつことができる (村民学：白川びと学)



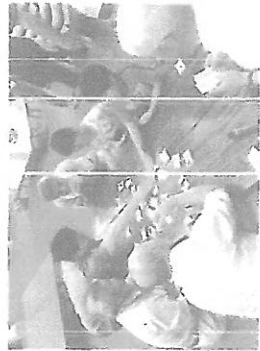
あいさつ改善など様々な課題について 地域活動部と児童生徒会が共に考える



村の課題や未来について 児童生徒と地域の大人が共に語り合う (子ども未来会議)



子ども会行事など自分たちの力で やり切る場を大切にする



地域行事のなかで大人と子どもが 共に楽しむ活動をする



伝統芸能を受け継ぐ場などでの 大人と子どもとの関わりを大切に



地域活動のなかで子どもと地域の 一員として大人と共に活動をする

初等部校歌

作詞 伊吹 武彦
作曲 森本 司彦

一 もらさぬ時へに 朝がせかけほ
あかすの恵い、わきてる力
あすをこころに きょうも夢へは
まんじくせいの 花のいろ
美しいろ ゆめのいろ

二 きぬかき山の みどりにはえる
みどりさみどり たのしいほどよ
あすをこころに きょうも夢へは
まんじくせいの 花のいろ
もかしにかよう ゆめのその

三 うるいみやこの 人愛たかく
にしはなないら のちみはるか
心ゆたかに きょうも夢へは
まんじくせいの 花のいろ
平和の片の ゆめのうた
あめ附 附属京部小中学校

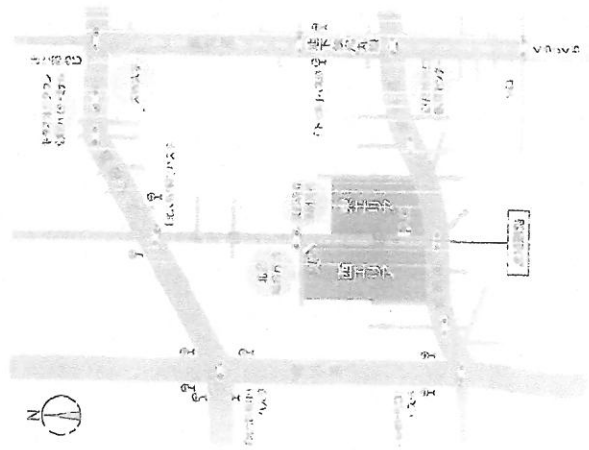
中・高等部校歌

作詞 伊吹 武彦
作曲 森本 司彦

一 夢の空の 夢の空の
五年の夢の輝き 夢をまと
立ちあがり 朝がめは
行手には ああ 花のいろを

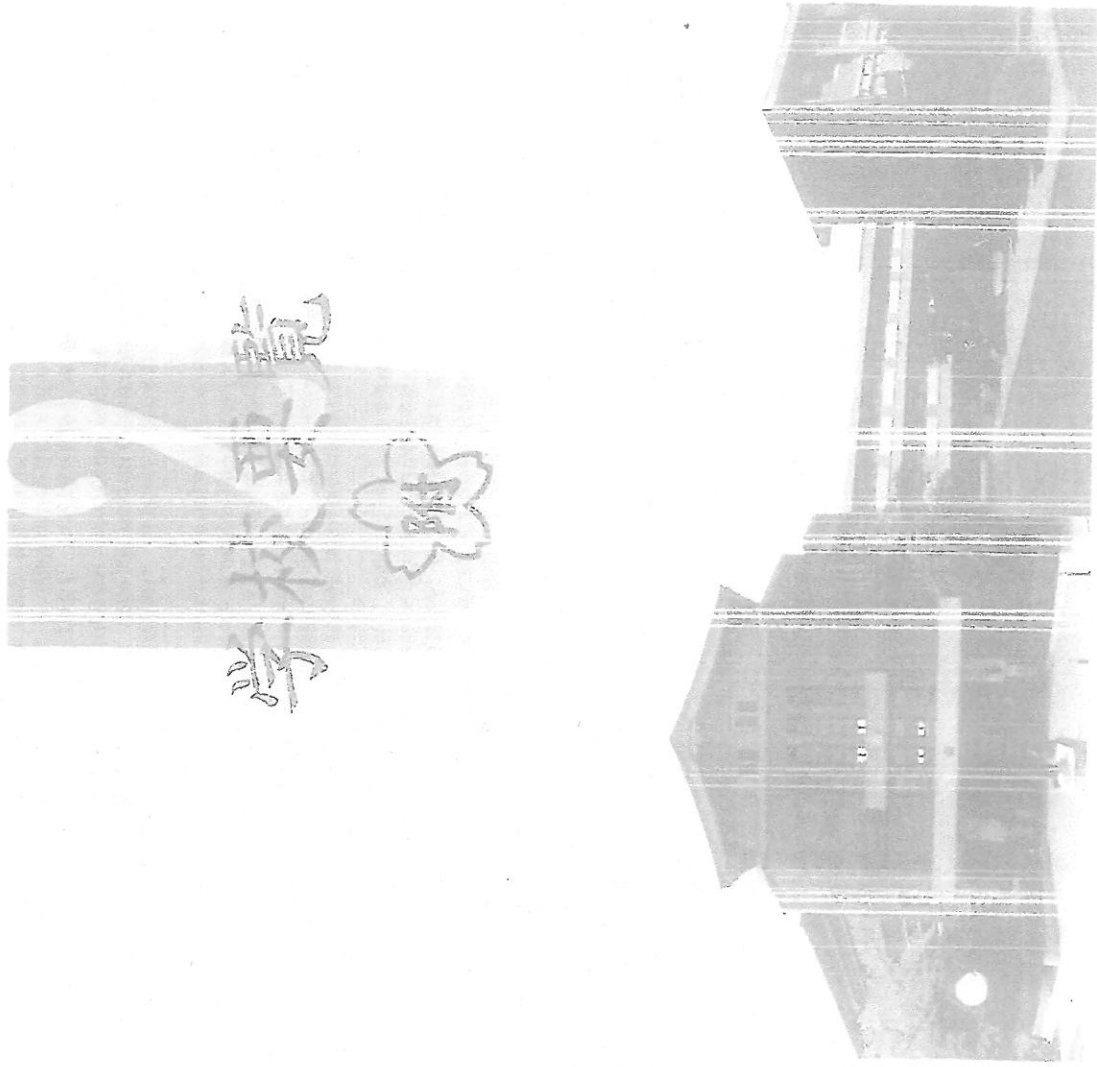
二 懐しと懐しと 涙の空を
一筋の涙に心は 見よかた
やどしくも ほほえみかた
飛ぶの ああ おかのむらさき

三 夢たかくなかく 夢みらたかく
空の空にさうらう空を 手をたけ
つなぐ手に 思いはりごと
あめきける ああ 夢のむらさき
開りはえよ 栄かれ 附属京部小中学校



●地下鉄有楽町線
●有楽町線又は北大塚駅下車 徒歩約9分

●市バス
【北大塚バスターミナル】下車 徒歩約8分
【北大塚駅】下車 徒歩約3分
【北大塚駅】下車 徒歩約3分
【北大塚駅】下車 徒歩約3分



学校要覧



京部小
(初等部5年～9年)
〒600-8163
京都市北区小山西大野町1丁目
TEL. 075-431-7131 FAX 075-4-1-7133

京部中
(初等部1年～4年)
〒603-8164
京都市北区野原御新田町37番地
TEL. 075-441-4166 FAX. 075-431-1827

京都教育大学附属京部小中学校
ホームページ: www.fuzukyoto.jp

教育目標・教育方針

【学校教育目標】

各領域が社会で求められる力の育成

急速にグローバル化、情報化するこの激動の社会において、各々の個性に輝かしつつ、
 全体へと目と目わり、心懸り全の形、そして、自らも自らの力を磨き、その力を
 甲斐として社会に貢献する。



【学校教育方針】

- ① 自主・自律
自ら学び、自ら考え、自律的に行動できる人を育てます。
- ② 個性・発達
自他の個性をまかしたつ、目的を達成するよう自ら探求する人を育てます。
- ③ 協調・共生
様々な考えや文化を受け入れ、他と共生し、協働して、たらく人を育てます。
- ④ 探究・貢献
他者と社会に貢献の精神をもつて、社会に貢献する人を育てます。

① 課題に対して自分なりの方法で積極的に活動できる生徒の育成
 ・学習活動に対しての好奇心・意欲力を身に付けさせる
 ・学習活動に対して正しく丁寧に行うことのできる力を身に付けさせる

② 自分自身の力・考えや探究心、積極的に表現しようとする生徒の育成
 ・あいさつや挨拶を気持ちよく行うことのできる礼儀を育てる
 ・楽しいものを愛し、思い、想像力に委ねようとする姿勢を身に付けさせる

① 自分で課題を見つけ、主体的に解決し、欲がら活動できる生徒の育成
 ・学習活動などにおいて、自他や良識を正しく活用して、自らの方針を身に付けさせる
 ・自らの課題を達成しようとする姿勢を育てる

② それぞれの思いや考えを伝え合い、協力して目標達成できる生徒の育成
 ・自分のよさを発揮しなが、他との協力のなかで活動する姿勢を育てさせる
 ・よりよい学校づくりに向けて自己のあり方を磨き、させながら活動に取り組ませる

① 広い視野のもとに自己を「探求し、思いやりと協力をもつ生徒の育成
 ・学習活動などにおいて、自他や良識を正しく活用して、自らの方針を身に付けさせる
 ・高等学校などとして、また社会の一員として、自己のあり方を磨き、させながら活動に取り組ませる

② 社会貢献意識や国際感覚をもち、自らの力を磨き、社会への思いやりや協働の精神をもつて、社会に貢献する生徒の育成
 ・社会への思いやりや協働の精神をもつて、社会に貢献する生徒の育成

各学年方針

沿革

- 1876 京都府立第一中学校（現・京都府立第一中学校）を設立
- 1882 京都府立第一中学校を改組
- 1901 京都府立第一中学校を改組
- 1918 京都府立第一中学校を改組
- 1947 京都府立第一中学校を改組
- 1949 京都府立第一中学校を改組
- 1951 京都府立第一中学校を改組
- 1957 京都府立第一中学校を改組
- 1965 京都府立第一中学校を改組
- 1966 京都府立第一中学校を改組
- 1967 京都府立第一中学校を改組
- 1972 京都府立第一中学校を改組
- 1975 京都府立第一中学校を改組
- 1981 京都府立第一中学校を改組
- 1988 京都府立第一中学校を改組

- 2003 京都府立第一中学校を改組
- 2005 京都府立第一中学校を改組
- 2006 京都府立第一中学校を改組
- 2008 京都府立第一中学校を改組
- 2010 京都府立第一中学校を改組
- 2011 京都府立第一中学校を改組
- 2012 京都府立第一中学校を改組
- 2013 京都府立第一中学校を改組
- 2014 京都府立第一中学校を改組
- 2015 京都府立第一中学校を改組

本校では、2002年度より小中一貫教育の教育課程と学校システムの研究を進め、
 2010年4月よりキヤリア教育を中核に据えた小中一貫教育学校として新たにス
 タートした。小中の学校施設を一体化し、生徒一人一人のキ
 リア能力に重点を置いた教育活動を展開している。
 2017年4月より国立大学附属高等学校に移行した。

本校の特徴

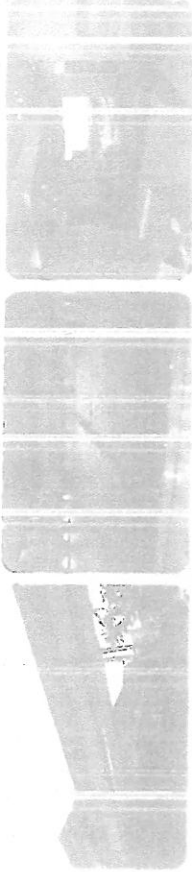
1. 京都府立大学の附属校
 本校は、京都府立大学の附属校として、2017年4月に開校した。本校は、京都府立大学の附属校として、2017年4月に開校した。本校は、京都府立大学の附属校として、2017年4月に開校した。
2. 小中一貫の教育課程
 本校は、小中一貫の教育課程を採用している。これは、小中の学校施設を一体化し、生徒一人一人のキリア能力に重点を置いた教育活動を展開していることを意味する。
3. 自発性・自主性を促した特別活動
 本校は、自発性・自主性を促した特別活動を展開している。これは、生徒一人一人の個性を尊重し、自己探求を促していることを意味する。
4. 特別支援級と通常の級との交流
 本校は、特別支援級と通常の級との交流を促進している。これは、障害のある生徒と障害のない生徒が共に学ぶ機会を創出していることを意味する。
5. 国際交流活動
 本校は、国際交流活動を展開している。これは、海外の学校と交流し、国際感覚を養っていることを意味する。

年間行事

前期	初等部 (1~4年)	中等部 (5~7年)	高等部 (8~9年)
4月	1年入学式	前期発表式 金沢大会 (1~4年)	3年学芸発表 (3泊4日) 8年学芸発表
5月	たてわり運動会 (1~4年)	7年入の学習 学年発表 (1~4年)	学年発表 (5~9年)
6月	たてわり運動会 (1~6年)	学年発表 (5~9年)	学年発表 (5~9年)
7月	3年学芸発表 (3泊4日) 4年学芸発表 (3泊4日)	前期中間発表 (7~9年)	
8月	5年学芸発表 (3泊4日)	前期発表式 タイランド交流会 (5~9年)	8年学芸発表 (3泊4日)
9月	前期発表式 前編発表会 (5~9年)		
10月	1~1年学芸発表 (3泊3日) 4年学芸発表 (3泊3日)	前期発表式 タイランド交流会 (5~9年)	
11月	前期発表式 前期発表会 (5~9年)	前期発表式 タイランド交流会 (5~9年)	
12月	前期発表式 前期発表会 (5~9年)	前期発表式 タイランド交流会 (5~9年)	
1月	前期発表式 前期発表会 (5~9年)	前期発表式 タイランド交流会 (5~9年)	
2月	前期発表式 前期発表会 (5~9年)	前期発表式 タイランド交流会 (5~9年)	
3月	前期発表式 前期発表会 (5~9年)	前期発表式 タイランド交流会 (5~9年)	

本校の精神的な施設

- ★ 警備員室
- ★ 大運動場、小運動場、グラウンド
- ★ プール
- ★ プラザ
- ★ 多目的体育館
- ★ 講堂
- ★ 連絡通路



多目的体育館

講堂

連絡通路

在籍生徒数

学年	初等部					中等部					高等部										
	1	2	3	4	5	5A	5B	5C	6A	6B	6C	7A	7B	7C	8A	8B	8C	9A	9B	9C	
1	13	16	16	32	96	5A	16	16	16	32	96	7A	13	13	16	32	8A	14	15	15	29
2	15	16	32	32	96	5B	15	16	32	96	7B	12	12	16	32	8B	14	14	15	28	
3	15	16	32	32	96	5C	16	16	32	96	7C	13	13	16	32	8C	13	13	15	28	
4	15	16	32	32	96	6A	16	16	32	96	8A	14	15	29	9A	14	15	29			
5	15	16	32	32	96	6B	16	16	32	96	8B	14	15	29	9B	15	15	30			
6	15	16	32	32	96	6C	16	16	32	96	8C	13	13	28	9C	15	16	30			
7	15	16	32	32	96	7A	13	13	16	32	9A	14	15	29	9C	15	16	30			
8	15	16	32	32	96	7B	12	12	16	32	9B	15	16	30	9C	15	16	30			
9	15	16	32	32	96	7C	13	13	16	32	9C	15	16	30	9C	15	16	30			
10	15	16	32	32	96																
11	15	16	32	32	96																
12	15	16	32	32	96																
1月	15	16	32	32	96																
2月	15	16	32	32	96																
3月	15	16	32	32	96																

(初等部(1~4年))

(中等部(5~9年))

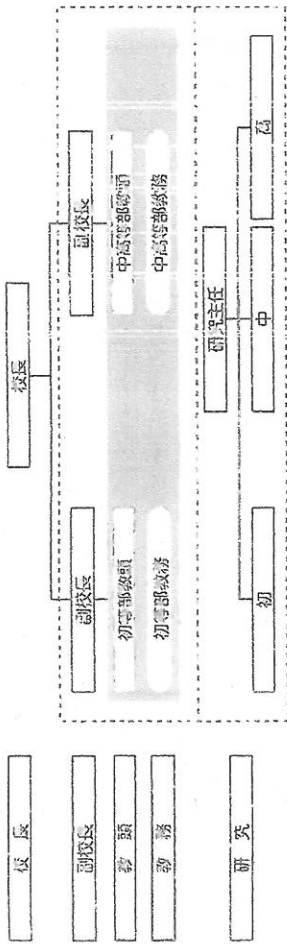
(高等部(5~9年))

時程

行事	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
入学式	8	10	~	8	5日							
学芸発表	8	55	~	9	4日							
中間発表	9	45	~	10	3日							
学年発表	10	30	~	10	5日							
前期発表	10	50	~	11	2日							
前期発表	11	10	~	12	2日							
前期発表	12	25	~	12	10							
前期発表	12	40	~	13	10							
前期発表	13	10	~	13	30							
前期発表	13	30	~	13	4日							
前期発表	13	50	~	14	3日							
前期発表	14	35	~	15	2日							
前期発表	~	10月31日	16	30								
前期発表	~	3月31日	16	10								

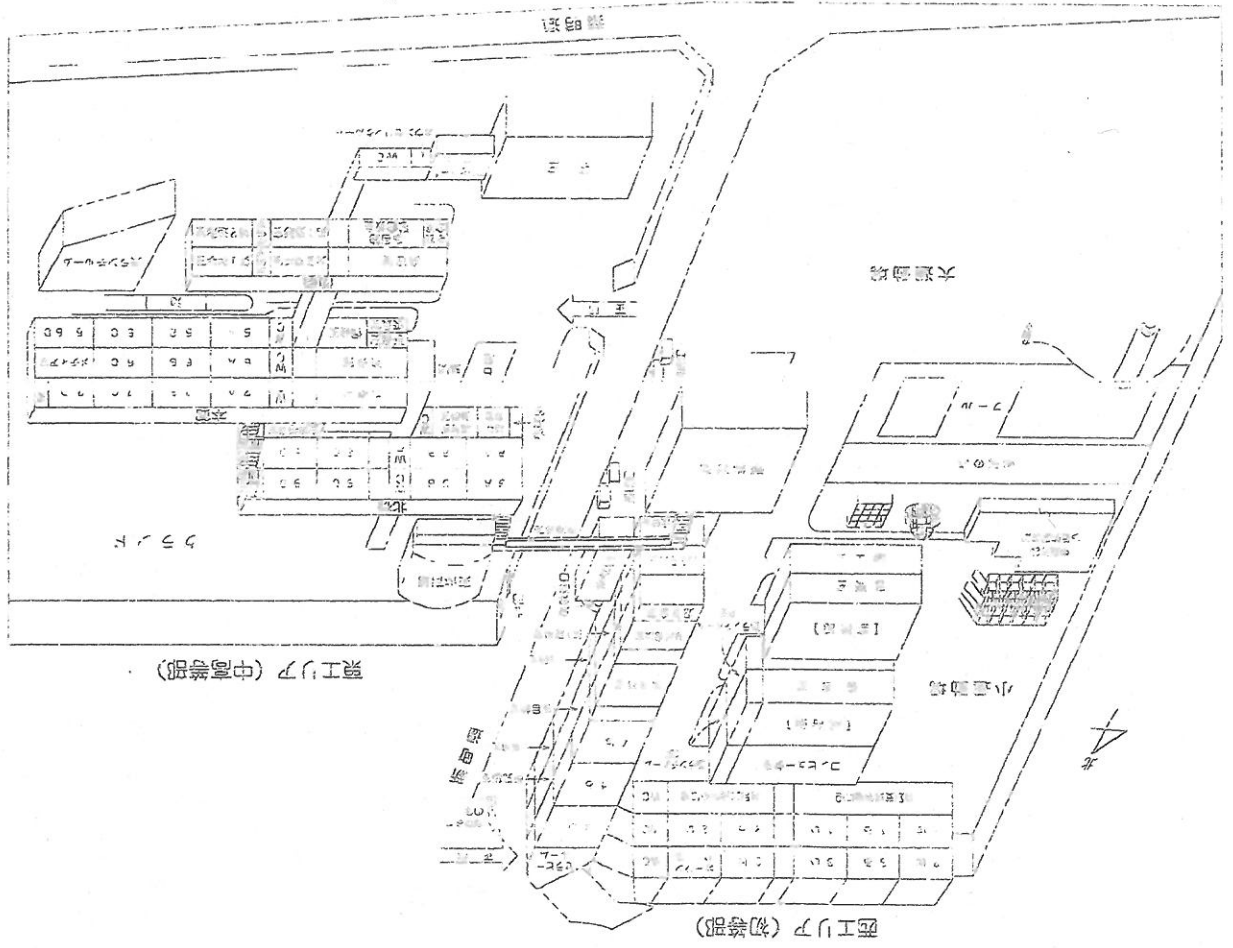
※1~4年生は15分授業、5~9年生は15分授業

平成30年度 京都府立中学校教務分掌



職名	初	中	高
学校企画推進委員会 学級人選委員会			
加配部職員 人事委員会			
学校いじめ防止対策委員会			
生徒指導委員会 学年主任会			
教育相談 特別支援指導委員会			
学校保健委員会			
学校保健師担任委員会			
学校フール小委員委員会			
学校図書 読書委員会 学級図書			
学校施設整備委員会			
入学検定			
教育実習			
教育実習 通知状			
年間行事計画 備前町			
進路指導			
学校研究計画推進			
人生教育			
道徳教育			
総合学習			
国際理解教育 英語教育			
国際教育			
国際教育			
生徒指導 生徒指導			
家庭O活動			
行事計画立案			
初等部 児童活動			
中・高学級 学級会活動			
中・高学級 部活動・サークル活動・クラブ活動			
学校施設 学校施設			
学校施設 管理			
学級・部活動			
教科書			
公文書 公文書			
印刷			
評議会			
同窓会			

校舎平面図



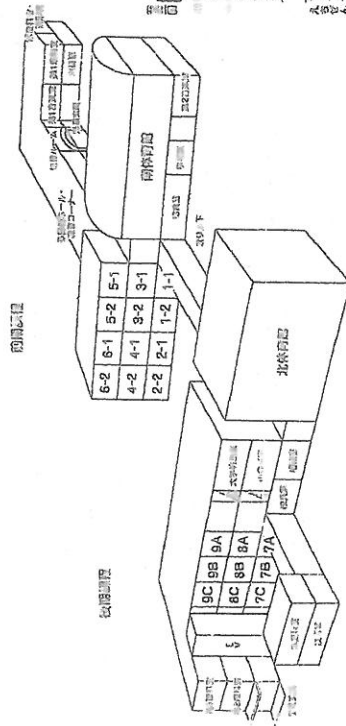
沿革

前期課程

- 1885 福井市佐佐木上町に附属小学校開校
- 1949 新制大学発足により、福井大学福井師範学校附属小学校と改称
- 1951 福井大学芸学部附属小学校と改称
- 1953 福井市若山小学校に附属小学校を併設
- 1964 福井市重慶町に新校舎を建築し、独立開校
- 1966 福井大学教育学部附属小学校と改称
特設学級開設
- 1971 福井大学教育学部附属養正学校の設立により
特設学級分離
- 1976 校歌制定
- 1999 福井大学教育学部附属小学校に改称
- 2004 国立大学法人福井大学教育学部附属小学校に改称
- 2015 附属4校園を附属学園に機能統合
- 2016 国立大学法人福井大学教育学部附属小学校に改称
- 2017 国立大学法人福井大学教育学部附属義務教育
学校開校

後期課程

- 1947 元鶴江選防兵舎を校舎に、福井師範学校附属
中学校開設
- 1949 鯖江市中央中学校に併設
新制大学発足により、福井大学福井師範学校
附属中学校と改称
- 1951 福井大学芸学部附属中学校と改称
- 1953 福井市明道中学校に附属中学校を併設
- 1963 福井市重慶町に新校舎を建築し、独立開校
- 1966 校歌制定
- 福井大学教育学部附属中学校と改称
特設学級開設
- 1971 福井大学教育学部附属養正学校の設立により
特設学級分離
- 1999 福井大学教育学部附属中学校に改称
- 2004 国立大学法人福井大学教育学部附属中
学校に改称
- 2015 附属4校園を附属学園に機能統合
- 2016 国立大学法人福井大学教育学部附属中学校に
改称
- 2017 国立大学法人福井大学教育学部附属義務教育
学校開校



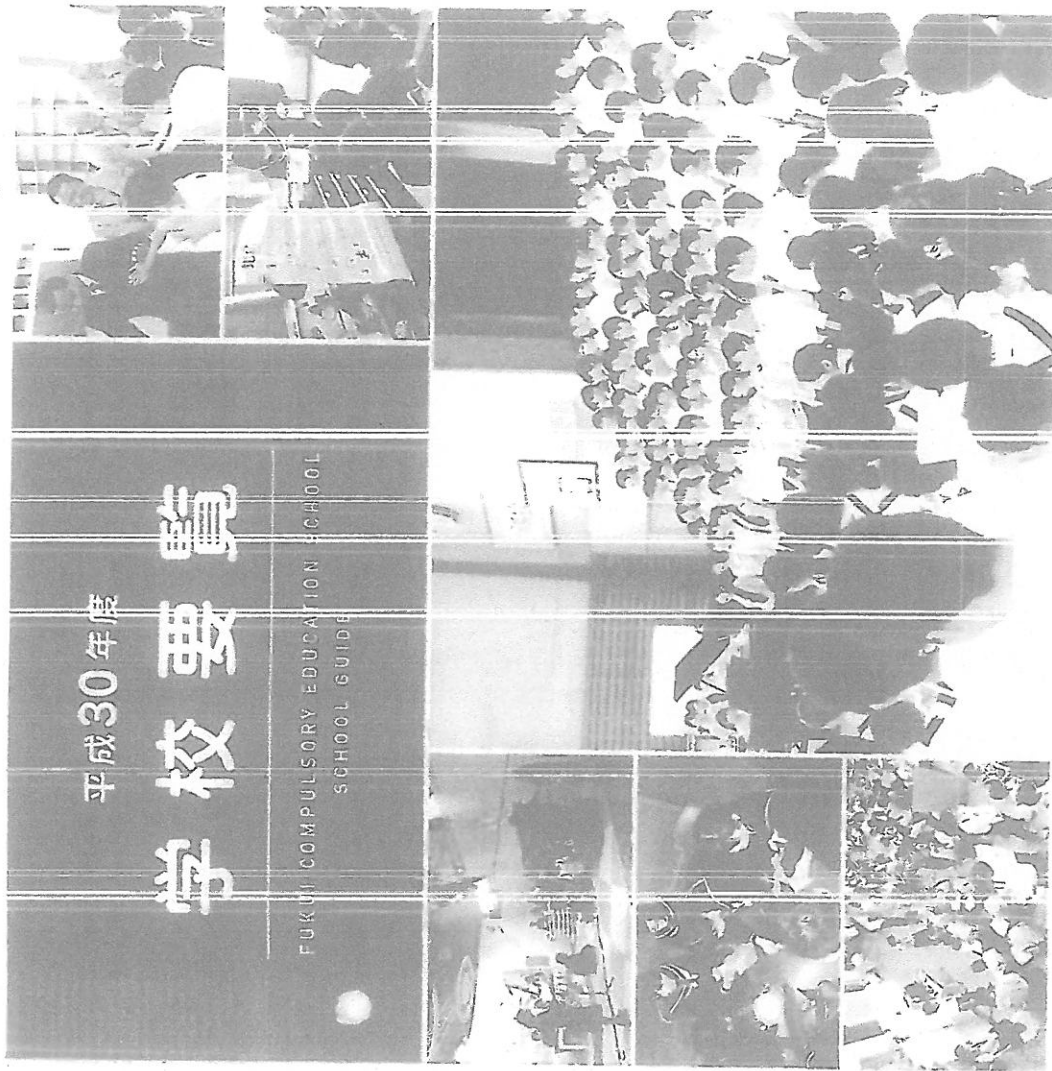
アクセス

- 交通手帳 / JR福井駅下車、市内バスのりば②④⑤⑥⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
- 新田塚停留所下車、徒歩5分
- えちぜん鉄道新田塚駅下車、徒歩15分
- 八ツ嶽駅下車、徒歩10分
- 北陸自動車道福井北インターより約15分
- ※近所バス停あり、バス停から徒歩10分程度で利用可能。

国立大学法人福井大学教育学部附属
義務教育学校

福井大学教育学部附属点校

平成30年度 文部科学省 研究開発学校指定校



附 福井大学教育学部附属義務教育学校

〒910-0015 福井県福井市二の宮4丁目45番1号 <http://www.f-edu.u-fukui.ac.jp/> fuzc@u-f/ (前掲設置) TEL (0776) 22-6891 FAX(0776) 22-7580 f-reit@u-fukui.ac.jp
【後期課程】 TEL (0776) 22-6985 FAX(0776) 22-6703 f-rall@u-fukui.ac.jp

校訓

「自主協同」
Autonomy And Cooperation

研究
D.E.F

研究主題

第I期 自律的な学びへのイノベーション
探究するコミュニティを培う

'Innovating towards Autonomous Learning' and 'Cultivating Community c Inquiry'



こながり合って学びを紡ぐ授業をデザインする
協働探究カリキュラムをデザインする

本校はこれまで、「探究」コミュニケーション「コラボレーション」(協働)を大切にしていち探究を続けてきました。この土壌をもとに他者と協働探究する「探究するコミュニティ」を培っていきます。この「探究するコミュニティ」の醸成が、得果に達して自ら学び続けていけるような「自律的な学び」へのイノベーションを可能にすると考えています。

「未来を創る自己の確立」

Establishing One's Own Identity For The Future Society

教育目標

前期課程
Elementary Department

目指す子ども像
Image of the Child

後期課程
Junior High School Department

自ら学び、
よりよく問題を解決する子
Children who learn by themselves,
and can solve problems in a better way

自立
Independence

高い志を持って、
主体的に学び続ける子
Students who continue to learn by themselves,
and has high aspirations

つながりを大切に、
高め合う子
Children who value relationships,
and complement each other to improve

協働
Collaboration

対話を通じて、他者と共に
新たな価値を生み出す子
Students who can create new things
and values through dialogues with peers

集団の一員として、責任と
自覚を持って行動できる子
Children who act responsibly with
consciousness of others when placed in a group

貢献
Contribution

民主社会の担い手としての
自覚を持って行動できる子
Students with good citizenship
and awareness of their roles in a democratic society

本校の使命

義務教育学校として

As a Government Education Institution

学校教育法第3条の教育法則に基づき、9カ年(一貫した教育方針のもと、心身の発達に応じて)の子どもも安心して学べる学校

教員研修学校として

As an Attached School to a Teacher Education Institution

教育学部附属として教育実習を受け入れる学校としてだけでなく、教職大学院と一体となった教員(職能成長を支える)研修学校

教育研究学校として

As a Research Center

県内公立学校や行政機関、大学と協働して 新たな教育課題の解明に向けて実践研究を推進、その成果を究極的なから時代をリードする学校

地域に貢献する学校として

As a Proactive Part of the Society

地域に根ざしたテーマでのカリキュラム開発や県内の新しいモデルとなるような取り組みを推進する、社会貢献に貢献する学校

4つの使命を有機的につなげ、
学校の教育力を子どもが成長のために集約

年間行事

前期課程

- 1年生を迎える会
- 交通安全教室(1年)

4月

- 新入式
- 入学式

5月

- 生徒総会(前期)
- 宿泊学習(7年)
- 校外学習(8年)
- 野外研修会(9年)

6月

- 親子研修
- 学校説明会
- 卒業式
- 入学式

7月

- 地区中体連盟大会
- 三好市議会

8月

- 三好市中体連盟大会
- 親子ボランティア

9月

- 林口祭
- 文化祭
- 期末考査

10月

- 学校説明会
- 学区協議会
- 地区中体連盟新人大会

11月

- 生徒総会
- 研究集会

12月

- 中間考査
- リレー研修会
- 運動会
- 三好市議会
- 置業祭

1月

- 平成31年度入学式
- 音読集会

2月

- 課外考査

3月

- 卒業式
- 修学旅行(8年)

4月

- 運動会
- 修了式
- 新任式

※1年生・2年生は前期課程の行事に参加する。

後期課程

- リレー研修会
- 地区中体連盟大会
- 三好市議会
- 学年総会
- 入学式

5月

- 生徒総会(前期)
- 宿泊学習(7年)
- 校外学習(8年)
- 野外研修会(9年)

6月

- 親子研修
- 学校説明会
- 卒業式
- 入学式

7月

- 地区中体連盟大会
- 三好市議会

8月

- 三好市中体連盟大会
- 親子ボランティア

9月

- 林口祭
- 文化祭
- 期末考査

10月

- 学校説明会
- 学区協議会
- 地区中体連盟新人大会

11月

- 生徒総会
- 研究集会

12月

- 中間考査
- リレー研修会
- 運動会
- 三好市議会
- 置業祭

1月

- 平成31年度入学式
- 音読集会

2月

- 課外考査

3月

- 卒業式
- 修学旅行(8年)

4月

- 運動会
- 修了式
- 新任式

校務組織図

教育課程・時間割・学力評価 進路指導 特別支援 特別活動
 管理・HR・図書・会計・施設 保健・体育・音楽・美術
 同窓会 就学援助費

生活指導 教育相談 児童会 生徒会 保健指導
 給食指導 通学指導 安全 防犯 防犯指導

学年行事 学活活動

9年間を見通した協同探究カリキュラム構築

社会創生プロジェクトの企画

教科 経験年数を踏えた授業研究 研究費
 研究企画がコーディネート

教務部・渉外

生徒課(前期)

各学級(前期) 各学年(前期)

各課(前期)

各学級(前期) 各学年(前期)

各課(前期)

児童・生徒数

	前期課程						後期課程					
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
男子	37	31	27	32	30	34	53	60	51	363		
女子	31	36	37	36	32	34	52	59	61	377		
合計	68	67	64	68	62	68	105	119	112	740		
学級数	2	2	2	2	2	2	3	3	3	21		

委員会

前期課程

- 運営 図書 音楽 体育 保健
- 生活 英語 音楽 体育 英語

後期課程

- 執行部 生活 図書 保健 図書 文化 保健体育
- 国語 社会 数学 理科 音楽 美術 英語 芸術

部活動

- ハレーボール男子
- 卓球男子
- 卓球女子
- ソフトテニス男子
- ソフトテニス女子
- サッカー
- 水泳
- 合唱
- 放送
- 科学
- スキー(全校活動はなし)

全教科・領域で9カ年かけて取り組む協働探究

義務教育学校 2年目の挑戦

- 研究開発校1年目として「プロジェクト型学習」を準備
- グローバル教育の推進

- 5年生から教科担任制を実施
- 前期課程と後期課程の委員会活動の連携を強化
- 前期課程と後期課程の合同の第1回教育研究協議会を実施(11/30)

**実社会で
生きる力を培う
プロジェクト型学習**
プロジェクト型の学習を主要な
領域で実施し、深い理解を培っ
た生きた知識の形成を目指す。

**世界と
自分をつなぐ
グローバル教育**
(英語に親しむ)から「世界と対
話」につながる外国語(英語)
教育を学ばせまします。

教科
カリキュラム

社会創生
プロジェクト

外国語(英語)
教育

担任制

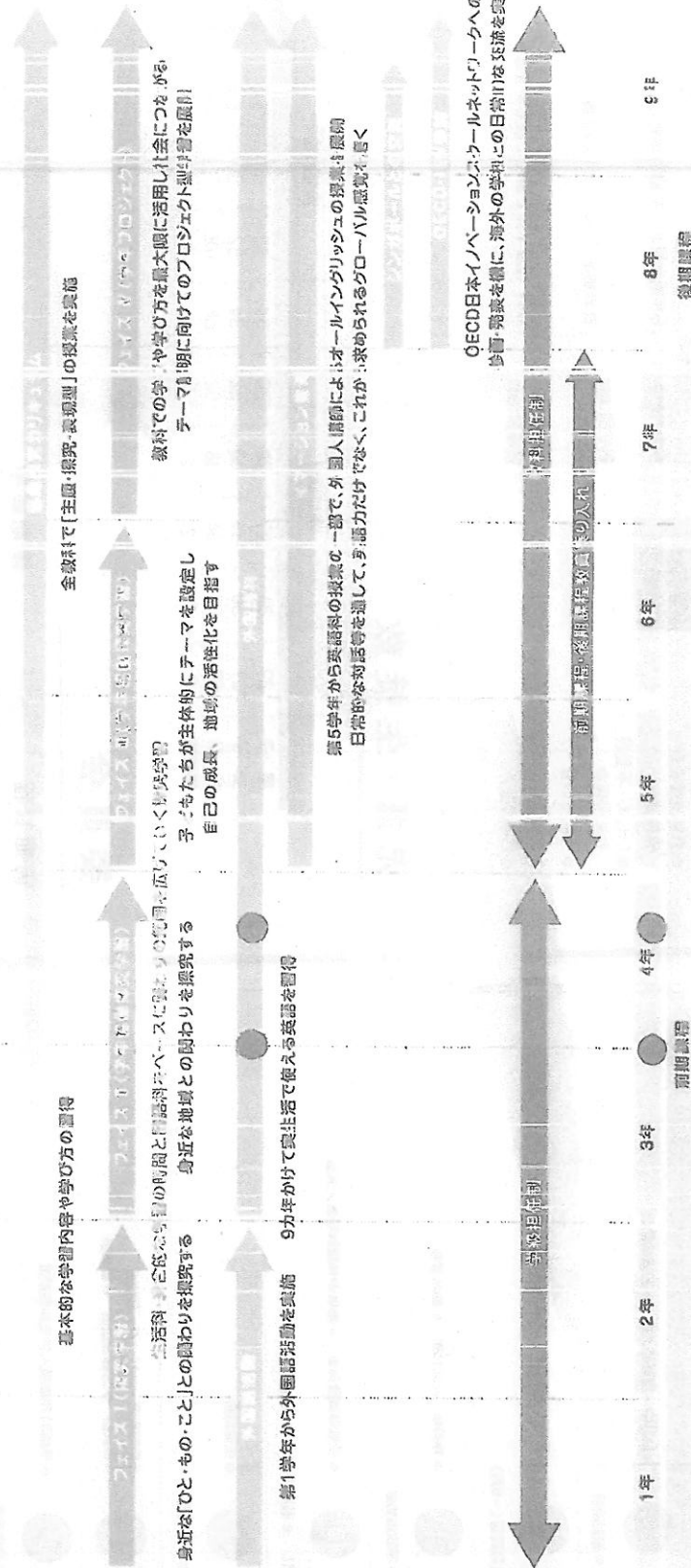
基本的な学習内容や学び方の習得

生活科・総合学習の時間と外国語科をベースに英語の活用を広げ、いくつもの英語学習
予とたちが主体的にテーマを設定し
自己の成長、地域の活性化を目指す

第1学年から外国語活動を実施 9カ年かけて英生活で使える英語を習得

第5学年から英語科の授業の一部で、外国人講師によりオールイングリッシュの授業を1週間
日常的な対話等を通して、英語力だけでなく、これからの求められるグローバル感覚を養う

OECD日本イノベーション・クールネットワークへの
参画・発表を機に、海外の学校との日常的な交流を実施



福井大学との強い連携によるハイレベルな教育実践

- ◆ 大学での最先端の研究授業に反映させたり、子どもたちが国公立大学の研究に訪れて持来も学び続けるような知的好奇心を育んだりできる機会を設定する。
- ◆ 自由研究やレポート等の課題や、授業中に取り組む研究等に対して、大学教員からは専門的なアドバイスを受けられる風評を確保
- ◆ 第1学年から第9学年まで通じた教科のカリキュラム構築に、大学教員・カリキュ

特に第5学年から第7学年までの学びのつながりを重視

- 英語、音楽、造形・美術、家庭科は、第5学年から後期課程の教員が担い持ちし、長期ビジョンに基づいて継続指導
- 第7学年・数学科は、算数・数学科教員全員で、前期課程からの接点を重視した少人数指導を実施
- 児童会活動と生徒会活動をリンクさせて、自治的に企画・運営する仕組みを構築

